

活動報告

団体名	にいがた災害ボランティアネットワーク
活動名	令和4年台風15号災害における静岡市清水区災害VC運営支援活動
活動期間	2022/09/30~2022/10/14
活動の成果	<p>被災された住民の方々からの活動依頼（ニーズ）に対し、実際にボランティア活動を行う前段階として、活動場所の状況及び安全性・作業に必要な人員及び資機材の見立て・依頼者や家族の生活状況や健康状態の確認・依頼された案件以外の困り事は無いか？等を直接確認する為に、清水区災害ボランティアセンターでは運営開始当初からニーズの現地調査に力を入れていた。</p> <p>それによって把握した個々の被災状況は様々であり、一般的なボランティア対応が可能なケースだけではなく、建築等の技術を要する案件や、作業に並行して福祉的なケアが必要な案件等、決して単純ではなかった。</p> <p>それら一つ一つをスタッフ間で共有し、対応に必要な体制作りや、技術系の団体との協働の構築に徐々に着手していった。</p> <p>被災地支援は、依頼者の目の前の困りごとのみならず、「災害ボランティアセンターに依頼してきた＝災害ボランティアセンターしか頼る相手が居ない」という事実を鑑み、潜在化した日常的な困りごとにまでアプローチする事に意義があるので、福祉のプロの視点が必要不可欠となる。そのため、社会福祉協議会職員と様々に相談・協議しながら現地調査に臨んだ。</p> <p>現地調査は一件一件丁寧に聞き取る事が肝要であるものの、住民の方々からの依頼は次々と寄せられるので、丁寧さと効率とのバランスの難しさが課題であった。また、当初は社会福祉協議会が所在している建物にて災害ボランティアセンターを運営していたが、活動の規模拡大に伴い、拠点を区内の公園に移転した。</p> <p>こういった対応は、地元自治会を始めとした住民の方々のご理解・ご協力や、地元行政等の関係各所との連携無しには不可能であるので、日頃から良好な関係性を培う事の重要性を実感した。</p>
寄付者へのメッセージ	<p>寄付者の皆様へ。</p> <p>ボラサポという支援者支援の仕組みが実施されている事により、現地の災害ボランティアセンター運営当事者の皆様からの応援要請にお応えすることが叶いました。ボラサポは、被災地に必要とされながらも経済的な理由で現地入りを躊躇っている団体等の背中を押して下さり、支えて下さる貴重な取り組みと存じます。被災地に赴き、実際に現地で活動する事はもちろん大事ですが、現地入りする支援者を支えて下さる方々の存在もまた不可欠です。</p> <p>寄付者の皆様が、現地入りする支援者を支え、ひいては被災地を、被災に苦しむ方々を支えて下さっていると一言でも決して過言ではありません。</p> <p>我々、現地で活動する者は、陰ながら被災地と我々を支えて下さる皆様への感謝を忘れずに、皆様の想いの分まで支援活動に尽力させていただきます。</p> <p>ありがとうございました。</p>